

第18回全国障害者スポーツ大会の結果について

1 成績

(1) 個人競技（参加枠数：身体障害者枠13人、知的障害者枠13人、合計26人）

① メダル獲得数

競技名	金	銀	銅
陸上競技	5	1	5
水泳		1	2
アーチェリー			
卓球・サウンドテーブルテニス		2	2
フライングディスク	1	1	1
ボウリング		1	
合計	6	6	10

② 金メダル獲得選手

選手名	競技名	競技種目
中里 巴	陸上競技	200m 女子27-少年(知的障害)
及川 一枝	陸上競技	50m 女子25-2部(視覚障害)
		走幅跳 女子25-2部(視覚障害)
千葉 一治	陸上競技	砲丸投 男子12-2部(肢体不自由)
		ソフトボール投 男子12-2部(肢体不自由)
菅原 芳輝	フライングディスク	ディスタンス メンズ・シテイング(肢体不自由)

(2) 団体競技（北海道・東北ブロック予選で優勝した3チームが出場）

- ① グランドソフトボール（視覚障害） 1回戦 岩手1-3鹿児島 敗退
 ② フットベースボール（知的障害） 1回戦 岩手3-9熊本 敗退
 ③ バレーボール（知的障害・男子） 1回戦 岩手0-2愛知 敗退

2 メダル獲得数推移

		陸上競技			水泳			アーチェリー			卓球			フライングディスク			ボウリング			団体競技			合計			
		金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	計			
14回	長崎	3	3	4	3	1				1	2	1		2	2				1			7	8	8	23	
15回	和歌山	6	8	5	6	2			1		2	3	2									14	13	8	35	
16回	岩手	26	19	20	17	5	4	2	1	1	4	6	6	5	8	9	1	3	1		1	55	42	42	139	
17回	愛媛	4	7	6	1		4	1			2	3	2			2					1	8	10	15	33	
今大会	福井	5	1	5		1	2				2	2	1	1	1		1					6	6	10	22	

3 分析

- (1) メダル獲得数の減少は、開催県・後催県の参加枠が従来に戻ったことが要因である。
 (2) いわて障がい者スポーツ強化指定選手で、陸上・知的障害区分・少年女子200mに出場した、中里巴選手は出場選手43名中トップのタイムで、ジャパンパラ競技大会でも表彰台を狙える記録であった。